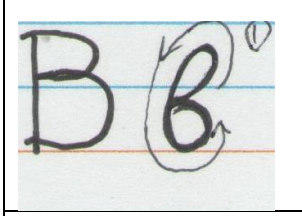
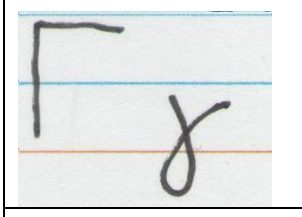
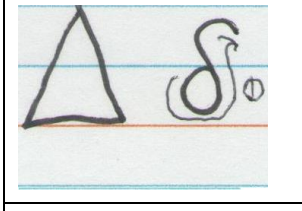
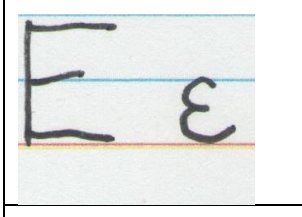
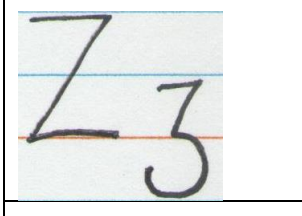
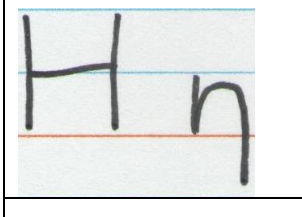
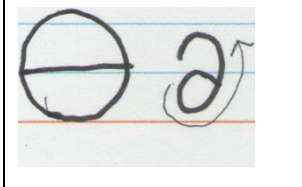
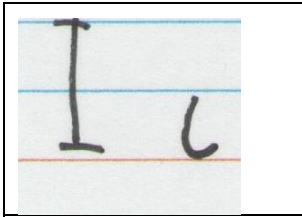
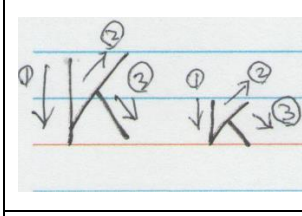
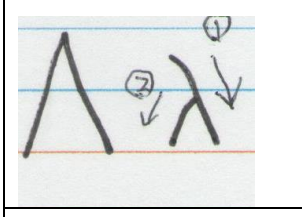
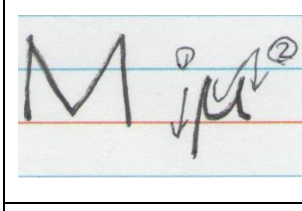
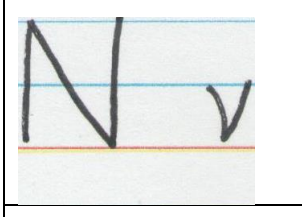
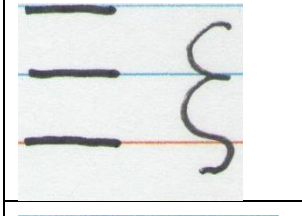
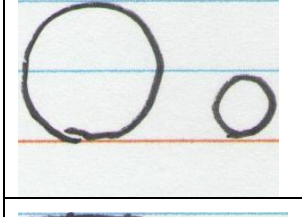
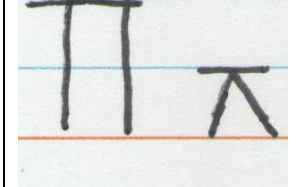
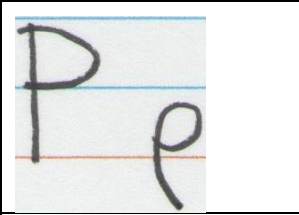
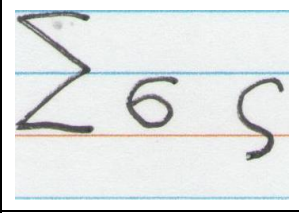
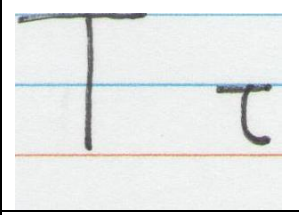
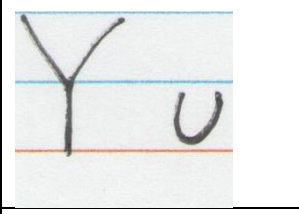
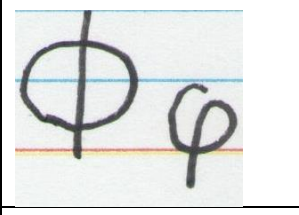
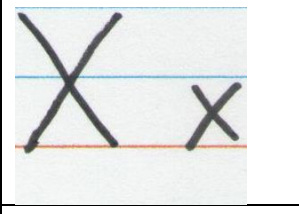
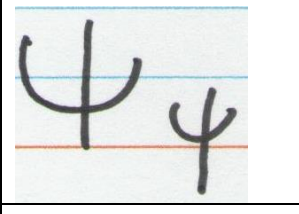
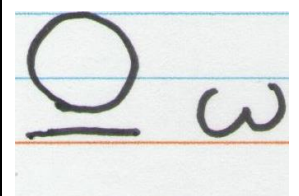
	<p>ἄλφα アルファ 音価：あ 数学ではお魚みたいに小文字を書くが、英語の a と</p>
	<p>βῆτα ヴィータ 音価：ヴ(v) 昔はベータ、B だった。</p>
	<p>Γάρμα ガーマ 音価：γ j イとエの前では口を大きく開いて喉で鳴らすイ アオウの前では喉で鳴らすグ。日本語のグは γκ と書く</p>
	<p>δέλτα ゼルタ 音価：ð 英語の this の th の音 いわゆるデルタ。</p>
	<p>ἐψιλόν エプシロン 音価：エ</p>
	<p>ζῆτα ジータ 音価：z 摩擦音だけのザ行の音 昔のゼータ。日本語のザ行は τζ と書きます。</p>
	<p>ἦτα イータ 音価：イ 昔のエータ。昔はエーという音価だった。 ἥλιος 太陽 ヘーリオス→イリオス</p>
	<p>θήτα シータ 音価：θ 英語の theatre の th 古典語ではタ行で息を強く出す音と考えられている。</p>

	<p>γιώτα ヨータ 音価：イ いわゆるイオタです。</p>
	<p>κάπα カパ 音価：k 書き順注意。ギリシャ人は斜めの線を上からいっぺんに書きません。</p>
	<p>λάμδα ラムザ 音価：l 上口蓋に舌をつけて両側から出すラ行の音</p>
	<p>μυ ミ 音価：m マミムメモの行 昔のミュー</p>
	<p>νι ニ 音価：n ナニヌネノの音</p>
	<p>ξι クシー 音価：ks</p>
	<p>όμικρον オミクロン 音価：オ</p>
	<p>πι ピ 音価：p パピプペポの行 数学で習うような踊った字を書く必要はない。</p>

	<p>ρο ロ 音価：r rの音は各国で多少違いますが、ギリシャ語のローは基本巻き舌のrです。</p>
	<p>σίγμα シグマ 音価：s サシスセソの音 単語の最後の音がsの場合はςを書きます。 σας(サス あなたの)</p>
	<p>ταυ タフ 音価：t ちなみにギリシャ語にチの音はありません。ツイはτοιと書きます。</p>
	<p>ύψιλον イプシロン 音価：イ 古典語ではウの口でイという音と考えられ単語の最初では規則音hがついていました。υπό ヒュポ→イボ</p>
	<p>φι フィ 音価：f 空集合のファイ。昔はプに息を出す音と考えられていた。 Αριστοφάνης アリストパネース→アリストファーニス</p>
	<p>χι ヒー 音価：xç ドイツ語とchと一緒。イエの前では強く息を出すヒ、アオウの前では喉で強く言うハの音。 昔のカイ。χαίρετε(ヒューレテ) Χριστός(ハリストス)</p>
	<p>ψι プシ 音価：ps</p>
	<p>ωμέγα オメガ 音価：オ 昔の音価は「オー」</p>

二つ以上母音がある単語にはアクセント記号を書きます。

γκ	(n)g
----	------

μαμά ママ

(昔の)二重母音

αι	エ
ει	イ
οι	イ
υι	イ
ου	ウ
αυ	アフ、アヴ
ευ	エフ、エヴ

ευρώ エヴロ ユーロ

ευκαιρία エフケリーア 良い機会

οικογένεια イコイエニア 家族

二重母音にアクセントがある場合は後の文字にアクセント記号を書きます。

αύριο アーヴリオ 明日

二重母音でない、バラバラに発音する場合は、前の母音にアクセントがあるなら、前の母音にアクセントを書きます。

ρολόι ロロイ 時計

そうでない場合は後の単語の上に `` をつけます。

Σίδνεϊ シドネイ シドニー

組み合わせの子音

μπ	(m)b
ντ	(n)d
τσ	ts
τζ	dz
γχ	nch
γγ	(n)g